

行/事/予/定

7月~9月

- 7月17日(水) 小地区見守り訪問活動研修会【大歳地域交流センター】
- 7月21日(日) おおとし防災の日
- 7月21日(日) 大歳地区子ども会球技大会【大歳小学校】
- 7月21日(日) 参議院議員通常選挙 投票日
- 7月27日(土)~28日(日) キッズフェスティバル【大歳小学校】
- 8月 3日(土) 第27回おおとし夏まつり【大歳小学校】
- 8月10日(土)・24日(土)・31日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月23日(金)~25日(日) 東北被災地交流支援事業【福島市ほか】
- 8月24日(土) 第4回大歳地区グランドゴルフ大会【大歳小学校】
- 9月 1日(日) 第7回山口市市民体育大会【維新百年記念公園ほか】
- 9月 7日(土) 鴻南中学校 体育祭【鴻南中学校】
- 9月16日(祝・月) 大歳地区敬老祝賀会【大歳小学校】
- 9月21日(土) 大歳小学校 運動会【大歳小学校】
- 9月25日(水) 高齢ドライバー1日ドック【山口県交通安全学習館】
- 9月29日(日) 第36回大歳地区バドミントン大会【大歳小学校】



ホームページも見てね!

大歳自治振興会

検索

おおとしかわの誌

Information

交通安全功労 受賞 おめでとうございます!

長年の活動が認められ、今年5月31日に山口市交通安全対策協議会長より、大歳地区交通安全対策協議会が表彰されました。



表彰状を持つ今野敏明会長

「おおとし わんわんパトロール隊」隊員募集!

愛犬と散歩される方を対象に「わんわんパトロール隊」の帽子を希望者に配布しています。着用して普段どおりの散歩をしていただくことにより、防犯意識の高揚及び各種犯罪の未然防止に寄与することを目的としています。詳しくは、大歳自治振興会 事務局 ☎920-1700まで



「三世代交流グランドゴルフ大会」参加者募集!
子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に楽しめるグランドゴルフをして顔馴染みを増やしてみませんか?

- ① 開催日時 8月24日(土) 午前8時30分~
- ② 開催場所 大歳小学校グランド
- ③ 募集対象 小学校4年生以上、どなたでもOK (50名程度)
- ④ 申込期限 8月16日(金)まで
- ⑤ 申込先 大歳自治振興会 事務局 ☎920-1700まで



「高齢ドライバー1日ドック講習会」受講者募集!
高齢者の安全運転を推進し、交通事故防止を図るために開催します。ぜひ、ご参加ください。

- ① 開催日時 第1回目 9月25日(水)9:00~12:30 第2回目 11月13日(水)9:00~12:30
- ② 開催場所 山口県交通安全学習館 (山口県総合交通センター内)
- ③ 募集人員 第1回、第2回とも各10名 (60歳以上のドライバー)
- ④ 申込期限 8月23日(金)までに開催日のいずれかを選んでお申し込みください。
- ⑤ 申込先 大歳自治振興会 事務局 ☎920-1700まで

編集後記

老後とは奇妙な言葉だ。生まれたあとが生後、死んだあとが死後だから、老境を生きた後、すなわち死ぬ間際かと思ったら、退職した途端に「楽しい老後を」などと言われ、無然とする。どうやらこの言葉、死者を語る時の「生前」と対句になっていて、衰えて(老)終わるだけ(後)を意味しているようだ。しかし、退職してからの20~30年もの長い期間を「老後」で一括りするのは釈然としない。俺は元気だ!「老後前」だ!と言いたいのは私だけではない。(武波)

まちごくり 2013.7 Vol.22 かわら版 おおとし

おおとし防災講演会

参加100人!



山本教授

昨年に引き続き第2回目の防災講演会を6月22日(土)に大歳地域交流センター講堂で開催いたしました。前日までの天候も嘘のように晴れとなり、参加者で会場は満席となりました。皆さんの関心の高さを感じることができました。

「洪水災害からいのちをまもる」という山口大学農学部教授 山本晴彦先生の講演は、4年前の水害時に大歳の被災された方々にアンケート等の調査をされており、身近に感じるお話でした。先生曰く、「各戸配布され

た山口市防災ガイドブックはすぐ身近において、いざという時にすぐ見られるように」とのことでした。また避難経路の確認や避難所の確認をするなど備えをしておくことの大切さなどについて非常に興味深いものでした。「大歳の防災意識の高さに感心しました」と後日談。休憩の後、勝井自治会防災部のハザードマップ作成の事例発表があり、他の防災委員さんも参考にすべく聞いておられました。

最後の情報伝達訓練では、自主防災会内で簡単にできる訓練の一つとして、非常時の情報伝達訓練(伝言ゲーム)をしました。簡単なようで難しい、やってみて初めて分かる伝達の難しさなどを体験しましたが、終始、皆さんが真摯に取り組みながら参加されておられたことに、感心しました。今後に活かされるものと思います。



平成21年大歳水害パネル展



おおとし勝井自治会防災部の発表



情報伝達訓練

忘れないで! 7月21日は おおとし防災の日

大歳地区住民座談会

まちづくりの主演はあなたです!

“大歳をもっと住みよいまちに”するため、大歳地区住民座談会が、2回にわたって開催されました。5月15日(木)と22日(木)に、大歳地域交流センターで、のべ約160人の皆さんが参加され、大変な盛会となりました。

5月15日は、趣旨説明の後、「こうすればもっと大歳はよくなる」というテーマで、ワールドカフェ方式*で15班に分かれて話し合いました。熱のこもった意見が続出し、班ごとにまとめを発表しました。そして、次の座談会のために、5つのテーマごと(「地域振興」、「地域福祉」、「安心・安全」、「環境づくり」、「地域個性創出」)に問題点をポストイットに書き出してくるという宿題が出されました。

5月22日は、講師の船崎美智子先生の「皆さん頑張りましょう!」のかけ声に「オーっ」と答えた皆さんは、各テーマごとに12班に分かれ、意見を出しながら課題を分類、まとめました。参加された皆さんからは、「具体的な課題が発表できて、とてもよかった。」とか「いろいろな意見が出たけど、とにかく実行してほしい。」など口々に熱い思いが語られました。

今後はここで集まった貴重なご意見に、活動部会の皆さんの考えを合わせて「第2次地域づくり計画(平成26年~30年度)」が策定されます。これからも、この熱い思いが「みんなで作ろう、明るく住みよのおとし」を創る土台になるのだと確信しました。

ワールドカフェ方式とは…リラックスした雰囲気の中(カフェのような)、少人数に分けたテーブルで自由な対話を行い、ときどき他のテーブルのメンバーと対話を続けながら、参加する全員の意見や知識を集めることのできる会議手法の一つ



今井上 自主防災組織、防災委員をご紹介します!

平均年齢の高い今井上自治会なので、自主防災に関する意識も高く、昭和47年に隣接する自治会が浸水被害を受けて以降、大雨のたびに気をもんでいたところ。このたび自主防災組織を編成しようということになり、お世話をする人さえ、いれば可能であるということになりました。そこで、自治会内で一番若い山近さんに白羽の矢が当たり、1年半をかけて結成に至ったところです。

これからどういう活動をするか役員の皆さんと計画を立てて進めていきます。

“備えあれば 憂いなし”です。



防災委員 山近幹治さん(今井上)

東日本大震災に学ぶ (東北被災地交流支援事業)

大歳自治振興会では、実際に現地を見て学ぶとして、8月23日(金)~25日(日)までの間、福島県及び宮城県に大歳地区内の小学校5・6年生10名、及び保護者・防災委員・自治会長の皆さん数名で、地元の方の話を聞いたり、交流をしたりして、被災地との今後の交流や自分達の備えを考えるために、現地視察を行い、状況を調査するとともに、大歳地域の皆さんに伝える活動を行うという趣旨で本事業を展開することになりました。

大歳 歴史の散歩道

朝田から和田に至る石州街道を歩くと、左手にこんもりとした森が見えます。山から延びた丘陵が国道9号とJR山口線で分断されたもので、「王子の森」と呼ばれています。

地名の由来は不明ですが、「大内氏の始祖琳聖太子の王子が住んでいた」との伝承が残され、享保年間に出された「地下上申絵図」に、すでに王子の森の地名が見えます。しかし、琳聖太子の実在性には疑問があり、彼の活動の主舞台となつたとされる地から遠く離れた朝田になぜ、こうした伝承が残っているのかは不明で、様々な空想の羽根を広げさせてくれる地名となっています。

王子の森の先に「山伏さま」と呼ばれる小さなほこらがあり、大歳史談会の説明板が立っ



王子の森

広報委員の突撃取材 おじゃまします!!

【5月2日にあった「こども部会」で聞きました】

部会をやっても、メンバー全員がなかなかそろわない ⇒ 若い人が多く仕事や家事に追われている。

主な議題と意見

- 東日本大震災を見てみよう
 - ・夏休み期間中に、東日本大震災のつめあとを見て地域の防災や日常生活に取り入れよう。
 - ・見て来たことは、大歳地域で発表会をする。各種団体での発表も考えている。
 - ・子どもの時に現地を見せることは、将来、大歳や子ども達が住むところで生かせる。目的をもった意見の集約が行われていた。
- 現在の課題は
 - ・登下校時の交通安全 ⇒ 道路事情は早急には解決できない。「見守り隊」の結成が急務である。みんなで見守りのステッカーを貼ろう。見守り隊の結成にむけて、検討委員会をおく。
 - ・通学路の状況 ⇒ 狭い、交通量が多くなった造成地ができるとさらに多くなるだろう。
 - ・単位子ども会は8か所しかなく、活動が年々少なくなっている。⇒ 子ども会入会や、今ある子ども会の活性化が必要。
 - ・長期休暇時の地区内パトロールの実施強化。

石州街道 vol.2

ある大名家の家老と対立した武士が、山伏姿に身をやつして九州へ落ち延びる途中、この地で家老の差し向けた刺客に討ち果たされ「田んぼの中に首のない死体が転がっていた」と生々しい話が今も残されています。彼を追ってきた妻も悲嘆のあまり、後を追って自害したため、村人が「比翼塚」を立て、今もねんごろに吊っていると。

いつの時代の、どこの家中で起きた事件かも、当事者の名前も残されていません。もしかしたら、ご政道に係わる事件として堅く口止めされたが、死んでまで添い遂げた悲しい夫婦愛のみを顕彰することで、ご政道批判となることを避けようとした村人の智恵が残したほこらなのかもしれません。



山伏さま

朝田から和田に至る石州街道